

ふくしまは負けない 明日へ

心込めドングリ育てます

いわきに 来秋植栽 石川の児童へ苗引き渡し



木村会長（右）から苗を受ける郷君（左）と星野君

石川町の全小学生約七百五十人が東日本大震災からの復興を願ってドングリを育てる「ドングリの絆」プロジェクトが十四日、始まった。石川小で全八校への苗の引き渡しセレモニーが行われた。児童は各学校で苗を育て、来年秋にいわき市久之浜地区の防災緑地に植栽する。震災以降、同町中谷地区と久之浜地区の住民が交流を続けたのが縁でプロジェクトを始めた。二月下旬に久之浜地区が町にコナラのドングリを提供した。同町の仲田種苗園の仲田茂司社

長五毛が発芽させて約八百本の苗を育てた。セレモニーには八校の六年生約百五十人が出席した。木村芳秀久之浜・大久地域づくり協議会長（セモ）が郷友太君（沢田小六年）、星野智史君（同）ら各校の代表に苗を贈った。児童を代表して遠藤優歩（ゆほ）さん（石川小六年）が「心を込めて苗を育てる」とあいさつした。久之浜一小と久之浜二小の児童合わせて約百八十人もドングリの苗を育てており、来年の秋に石川町の児童と一緒に植栽する予定。セレモニーに先立ち、三月まで久之浜一小校長を務めていた松本光司好問一小校長（五毛）が震災時の津波の恐ろしさなどを講話した。